



開所日時 月・水・木・金曜日 15時～18時
土曜日 10時～13時
児童デイ

★星の国から孫ふたり上映記念★

自閉症について知ろう

近年、特別支援学級の設置や、テレビドラマや映画など様々なメディアで取り上げられ、「自閉症」について一般に知られる機会が増えてきました。しかし、見た目にわかりにくい障害の為、今だに誤解をされていたり、適切なかわり方をされていないことが多いのが現状です。

支援の第一歩は“正しく理解すること”です。以下の設問に答えてみてください。



○×で答えてください

1. 自閉症は心の病気である
2. 自閉症は頑張れば治る
3. いろいろなタイプの人を含めると自閉症の発症率は100人に1人である
4. 話しているほど言語の理解ができていないときがある
5. 自閉症をもつ子どもは厳しくしつければよい
6. 自閉症は障害だから、全て手取り足取り先回りして教えてあげることが優しさである

答えはこちら…

1. 「自閉症」という名称から引きこもりやうつ病の一種と思われがちですが、自閉症は先天性の脳の機能障害であり、決して親の育て方や環境の問題が原因ではありません。
2. 現在の医学では自閉症に対する根本的な治療法は見つかっていません。したがって「治す」ことはできませんが、個々の特性に合わせた適切な療育を行うことによって苦手な部分を補い、自立を促してゆくことは可能です。
3. 最近の統計によると、アスペルガー症候群や高機能タイプの方を含めると、自閉症の発症率は100人に1人ぐらいといわれています。診断の精度が上がってきたことにも由来しますが、もはや稀な障害とはいえなくなってきました。
4. 流暢に話しているようにみえても、オウム返し(エコラリア)であったり、テレビアニメやコマーシャルの音声を暗唱しているだけで、実際にコミュニケーションとして成り立っていない場合があります。
5. 彼らの行動特性から、一見「あまえている」「なまけている」ように見られ、つい叱ったり、がんばることを求めてしまいがちですが、自閉症をもつ子は周囲の状況や人の気持ちなど、目に見えないことを理解する力が弱いことが多く、そのために叱られても叱られた理由そのものがわからず、結果として行動の修正につながらないことが多いのです。
6. だからといって何でもかんでもこちらが先読みしてやってあげてしまうのではいつまでたっても自立へはつながりません。個々の特性を把握し、得意なこと、興味のあること、できそうなことから少しずつ教えていくことが大切です。

ミニデイだよ!



学生さんとの交流

今年も中学生や専門学校生が体験学習に来てくださいました。お孫さんや曾孫さんくらいの年齢だからでしょうか、本当に優しくおらかな笑顔で接せられている皆さん。学生さんが自己紹介をすると、「あんた今どきの綺麗な名前だね〜」「珍しい名前だけど、お父さんの住所はどこかね?」など会話が広がります。学生さんに作品作りを手伝ってもらったり、逆に自由時間には、利用者さんがマージャンを教えてあげたりして良い交流ができました。

～学生さんの感想～

皆さん、とても明るくて、元気をもらいました。温かかったです。最初は緊張でビクビクしていたけれど、話しかけて下さって嬉しかったです。いろいろ教わるのができてよかったです。一日あつという間でもう少し居たかったです。良い思い出になりました。

うちわのリメイク作りをしました。破れて役割の終えたうちわの紙を剥がして、新しい紙を貼ります。そこにそれぞれ絵や書いたり、和紙や布を貼ったり。とても素敵のうちわが色とりどりに出来上がり、使うのがもったいない!



うちわ作成中の利用者さん

心づれづれ



夏の御嶽山

5才の頃から、毎年8月信者の皆様と共に夏の御嶽山に参らせて頂いています。今年も無事に参ることができました。

今年は、8月12日(水)の朝6時にバスに乗り込み、尾西インターから高速にはいり、中津川インターで降り、御嶽山の七合目に着きます。バスから降りた時の風の冷たさ、風の爽やかさに目もさえわたります。今年は悪天候のため、頂上に登る事ができなかったのですが、頂上でみる星の輝き、日の出のすばらしさ、雲海のすばらしさは、今でも目に浮びます。

そこで今年は、下の山にある八海山、新滝、清滝、十二社等に参る事にしました。その中でも清滝というところは、約30mの岩の上から、すごい勢いの水が流れ落ち、立ってられないほどの自然の力に圧感し、しばらく動くことができませんでした。来年もまたこの自然を味わうことが楽しみになった二日間でした。

ドレミ音楽講師 古川安美

～ご案内～



わかってちょうよ認知症

～認知症になっても安心して暮らせるまちづくり講演会～

講演 ～認知症ってどんな病気～
講師 松本一生 氏
(松本診療所ものわすれクリニック院長)
他、介護の体験と介護の仕方について現場の立場からお話があります。
日時 9月19日(土) 13:00～16:00
場所 スポーツ文化センター3階 小ホール
定員 250名(先着順)
参加費 無料
受講者には認知症サポーターの証である、オレンジリングがいただけます
申込み 高年福祉課 電話 28-9021